

くすのき



学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成

新たな伝統の1ページ目が始まりました

3学期が始まり、早1ヶ月が経とうとしています。子供達は、3学期を新しい学年の準備期間として、学習や行事に意欲的に取り組んでいます。

1月20日(月)5校時には、本校運動場でこん棒の引き継ぎ式が行われました。いよいよ、こん棒体操74年目に向けて、新たな取組がスタートしました。

まずは、6年生の見本演技が披露されました。5年生は、6年生の姿を真剣なまなざしで見つめ、伝統を受け継いでいくことに、気持ちを新たにしている様子でした。次に、こん棒の引き継ぎです。6年生から5年生にこん棒が受け渡された瞬間、三坂地の伝統の新たな1ページ目がスタートしたと感じました。

その後、5年生はペアの6年生に直接こん棒体操を教わりました。始めは、こん棒の持ち方、そして、手の伸ばし方、目線、足の動き等、6年生は5年生に、実際に手を取ったり声をかけたりしながら熱心に教えていました。その思いに応えようと一生懸命にこん棒体操に取り組む5年生に対し、「いいよ！その調子！」「できてる！できてる！」と、あちらこちらから、6年生の励ます声が聞かれました。

74年の長きにわたり伝統を守り続けている三坂地っ子のそばで、私自身もその伝統の重さと素晴らしさを感じることができました。令和7年度の運動会で、5年生が三坂地っ子の新しいリーダーとして披露する姿を、今から楽しみにしています。



感謝の気持ちを大切に

1月28日(火)に、広小学校 栄養教諭 矢野 未央先生をお迎えして、食育朝会を行いました。1月24日(金)～1月30日(木)の全国学校給食週間について、スライドを基にわかりやすくお話させていただきました。給食の歴史や、郷土料理、給食を通して身に付けたい力や食べ物の大切さ等について、子供達は身を乗り出して聞いたり応えたりしながら、理解を深めました。

子供達は、日々の給食を通じて「食事のマナー」や「良い食習慣」を身に付けていきます。また、給食当番を通じて、食事の準備の仕方やルールについて学ぶこともできます。そして何より、多くの人々の支えによって給食が提供されていることを理解し、感謝する心の大切さを学びます。おいしく感謝しながらいただき、心も体も成長する三坂地っ子になってほしいと願っています。

